



2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年5月15日

上場会社名 株式会社キットアライブ 上場取引所 札
 コード番号 5039 URL <https://www.kitalive.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 嘉屋 雄大
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 内田 みさと TEL 011 (727) 3351
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の業績 (2023年1月1日～2023年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|----------------|-----|---|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年12月期第1四半期 | 243 | — | 84 | — | 84 | — | 58 | — |
| 2022年12月期第1四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年12月期第1四半期 | 46.63 | 45.31 |
| 2022年12月期第1四半期 | — | — |

(注) 2022年12月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2022年12月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2023年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|-----|-----|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年12月期第1四半期 | 701 | 624 | 89.0 |
| 2022年12月期 | 729 | 565 | 77.6 |

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 624百万円 2022年12月期 565百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|----------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年12月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2023年12月期 | — | — | — | — | — |
| 2023年12月期 (予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-----|------|------|-----|------|-----|-------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 906 | 28.3 | 188 | 3.0 | 191 | 7.9 | 132 | 3.7 | 105.58 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年12月期1Q | 1,253,000株 | 2022年12月期 | 1,253,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年12月期1Q | －株 | 2022年12月期 | －株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2023年12月期1Q | 1,253,000株 | 2022年12月期1Q | －株 |

(注) 当社は、2022年12月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2022年12月期第1四半期の期中平均株式数については記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| 第1四半期累計期間 | 5 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (セグメント情報) | 6 |
| (収益認識関係) | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2023年1月1日から2023年3月31日)におけるわが国経済は、物価上昇や金融資本市場の変動等の影響により依然として先行きが不透明な状況が続いている一方、新型コロナウイルス感染症に係る各種行動制限が緩和され社会経済活動が緩やかに持ち直しております。

このような状況のもと、DX(注1)の取り組みが加速しており、あらゆる産業において、アナログな事務作業のデジタル化やデータセキュリティが重要視され、企業の競争力強化、業務効率化のためのIT投資意欲は拡大していくことが見込まれております。

当社が事業を行うクラウド(注2)サービス市場においても、顧客からのニーズは非常に多く、依然として拡大しております。2022年9月15日にIT専門調査会社IDC Japan株式会社が発表した「国内パブリッククラウドサービス市場予測」によりますと、2022年の国内パブリッククラウドサービス市場規模は、前年比29.8%増の2兆1,594億円になり、2021年から2026年の年間平均成長率(CAGR: Compound Annual Growth Rate)は20.8%で推移し、2026年の市場規模は2021年比2.6倍の4兆2,795億円になると予測しております。

このように、引き続き国内クラウド市場が急速に成長している環境のもと、当社は札幌を拠点に、Salesforce(注3)導入支援及びSalesforce製品開発支援を展開しており、ITコンサルティング・要件定義・設計・開発・システムテスト・運用保守といったシステム開発の全工程をITエンジニア自身が一気通貫に提供できることが当社事業の特徴であります。当社のITエンジニアはシステム開発における一工程を担当するのではなく、「顧客と共にあらたな世界を切り拓こう」という思いでお客様のビジネスを理解して継続的なシステムの拡張を支援し、また新たな技術トレンドの情報提供等、お客様の多くの相談事項にも対応しております。その結果、北海道内はもちろん、北海道外からも案件の引き合いが増加しており、当第1四半期累計期間では新たに秋田県・神奈川県・大分県と3県の顧客が増加し、合計17都道府県の顧客との取引実績があります。また、当第1四半期累計期間は大型案件の検収により、クラウドソリューション事業が伸びました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高243,927千円、営業利益84,534千円、経常利益84,544千円となり、四半期純利益は58,422千円となりました。

なお、当社はクラウドソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載については省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は662,137千円となり、前事業年度末に比べ12,230千円減少いたしました。これは主に売掛金及び契約資産が95,553千円増加した一方で、現金及び預金が91,663千円、その他流動資産が15,053千円減少したことによるものであります。固定資産は39,286千円となり、前事業年度末に比べ15,828千円減少いたしました。これは主に投資その他の資産が13,630千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、701,423千円となり、前事業年度末に比べ28,058千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は76,569千円となり、前事業年度末に比べ87,010千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が27,943千円及び未払賞与が45,692千円減少したことによるものであります。固定負債は528千円となり、前事業年度末に比べ528千円増加いたしました。

この結果、負債合計は、77,097千円となり、前事業年度末に比べ86,481千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は624,325千円となり、前事業年度末に比べ58,422千円増加いたしました。これは四半期純利益の計上により利益剰余金が58,422千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は89.0%(前事業年度末は77.6%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月14日に「2022年12月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」で開示いたしました業績予想からの変更はありません。

※用語解説

(注1) DX

デジタルトランスフォーメーション (Digital Transformation) の略。2018年に経済産業省が発表した「デジタルトランスフォーメーションを推進するためのガイドライン (DX推進ガイドライン)」において、「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」と定義されております。

(注2) クラウド

クラウド・コンピューティングの略で、インターネットをベースとしたコンピューター資源がサービスとして提供される利用形態。ユーザーはサーバー機器等のハードウェアやソフトウェアの資産を自前で持たず、インターネットを介して必要に応じて利用するものです。

(注3) Salesforce

Salesforce, Inc. が開発・提供するクラウドサービスの総称。中核である営業支援 (SFA) ・顧客関係管理 (CRM) だけでなくマーケティング、データ分析、カスタマーサポート等提供しているサービスは多岐に渡ります。日本国内においても、日本郵政グループやトヨタグループ等の大企業のみならず、中堅・中小企業まであらゆる業種・規模の企業に利用されております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2022年12月31日) | 当第1四半期会計期間 (2023年3月31日) |
|--------------|------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 472,461 | 380,798 |
| 売掛金及び契約資産 | 154,508 | 250,061 |
| 仕掛品 | 3,112 | 2,046 |
| その他 | 44,284 | 29,231 |
| 流動資産合計 | 674,367 | 662,137 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 16,992 | 16,464 |
| 無形固定資産 | 18,421 | 16,752 |
| 投資その他の資産 | 19,700 | 6,069 |
| 固定資産合計 | 55,114 | 39,286 |
| 資産合計 | 729,482 | 701,423 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 6,737 | 5,334 |
| 未払法人税等 | 41,942 | 13,998 |
| 賞与引当金 | — | 8,580 |
| 資産除去債務 | 1,616 | 1,616 |
| その他 | 113,282 | 47,039 |
| 流動負債合計 | 163,579 | 76,569 |
| 固定負債 | | |
| その他 | — | 528 |
| 固定負債合計 | — | 528 |
| 負債合計 | 163,579 | 77,097 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 125,820 | 125,820 |
| 資本剰余金 | 125,820 | 125,820 |
| 利益剰余金 | 314,262 | 372,685 |
| 株主資本合計 | 565,902 | 624,325 |
| 純資産合計 | 565,902 | 624,325 |
| 負債純資産合計 | 729,482 | 701,423 |

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 当第1四半期累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日) |
|--------------|---|
| 売上高 | 243,927 |
| 売上原価 | 113,689 |
| 売上総利益 | 130,238 |
| 販売費及び一般管理費 | 45,704 |
| 営業利益 | 84,534 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 2 |
| その他 | 8 |
| 営業外収益合計 | 10 |
| 経常利益 | 84,544 |
| 税引前四半期純利益 | 84,544 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 11,962 |
| 法人税等調整額 | 14,159 |
| 法人税等合計 | 26,121 |
| 四半期純利益 | 58,422 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は、クラウドソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社はクラウドソリューション事業の単一セグメントであり、顧客との契約から生じる収益を分解した情報は次のとおりであります。

(単位：千円)

| | 当第1四半期累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日) |
|---------------|---|
| クラウドソリューション | 242,101 |
| ライセンス販売 | 1,826 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 243,927 |
| その他の収益 | — |
| 外部顧客への売上高 | 243,927 |